

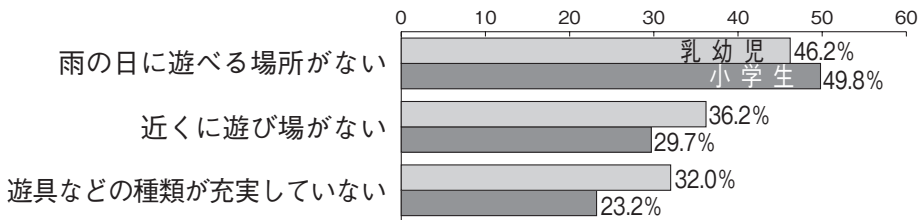
## ■子どもの外遊び

### 【外遊び頻度】

小学生と比べて乳幼児の方が、外遊びの頻度は高くなっています。また、外遊びを「ほとんどしない」という回答の割合をみると、小学校低学年では約10%にとどまるものの、小学校高学年では20%を超えています。

### 【遊び場への要望】

乳幼児の保護者、小学生の保護者ともに雨の日遊べる場所への要望が高くなっています。また、小学生の保護者では思い切り遊ぶための十分な広さを備えた遊び場への要望も高くなっています。



【子育てに関して必要な情報】  
乳幼児の保護者、小学生の保護者ともに、保育所や幼稚園、学校に関する情報の必要性が約60%と最も高く、次いで医療や医療機関、子どもの病気などのときの対処法など病気に関する情報が挙がっています。

【子どもの健康】  
【朝食を食べている頻度】  
乳幼児では、「朝食を毎日食べている」が79.8%でしたが、「ほとんど食べていない」子どもも1.5%ありました。また、小学生は、「朝食を毎日食べている」が94.5%でほとんどの子どもが朝食を食べていることが分かりました。

【家族そろっての食事】  
同居している家族がそろって食事をする機会は、乳幼児、小学生ともに低く、1週間のうち4日以上家族そろって食事をしている割合は乳幼児54.1%、小学生51.6%となっています。

【両親の就労状況】  
【父親の就労状況】  
乳幼児、小学生とも父親は大半が「勤め人」で約10%が「自営業・家族従事・内職」でした。

【母親の仕事と子育て観】  
乳幼児を持つ母親、小学生を持つ母親ともに、「仕事もするがなるべく子育てを優先したい」が最も高く、「子育てを専念するため、できれば仕事はしたくない」を合わせる「子育て優先」が約60%を占めました。

## さまざまなご意見をお寄せいただきました

自由回答では、さまざまなご意見をいただきました。その中で多く寄せられた意見を紹介します。

区分	内容
共働き	会社や企業の意識改革を進めるべき
	産後・育児後の社会復帰策を望む
経済	育児費用の負担感大きい。支援して欲しい(補助金、減税など)
	保育料が高い。保育料を下げたい
	乳幼児医療費を窓口無料化に 乳幼児医療費の支給年齢を拡大して欲しい
保育	一時預かりのサービスを増やして欲しい
	保育所の待機児童が多い
保健・健康	医療費が高い
情報・相談	相談窓口と相談方法の情報を周知して欲しい。対応が悪い
	子育て情報(各種サービス、病院、サークル、行事など)の入手希望
遊び場	近くに公園が欲しい
	自由に遊べる安全な遊び場の要望
その他	市立幼稚園統廃合の問題

【母親の就労状況】  
乳幼児を持つ母親では66.2%が無職・専業主婦であるが小学生を持つ母親になるとその割合は38.6%に下がって代わって

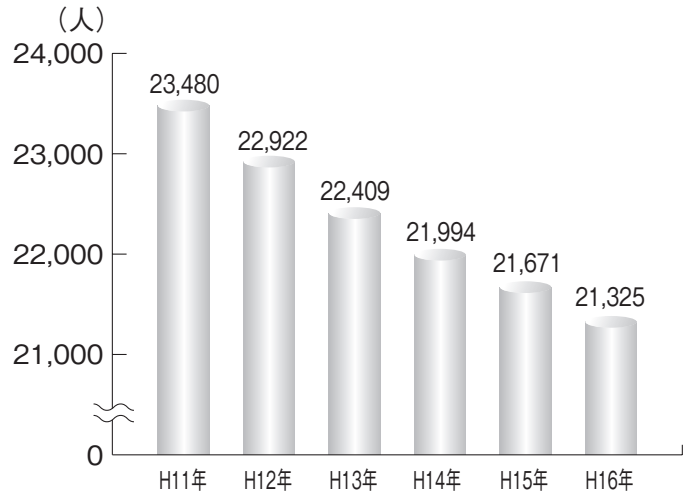
また、就労状況別ではフルタイムで勤めている母親は、子育てと仕事の両立希望が高くなっています。

パート・アルバイトの割合が大きく増加しており、働く母親の割合が増えています。

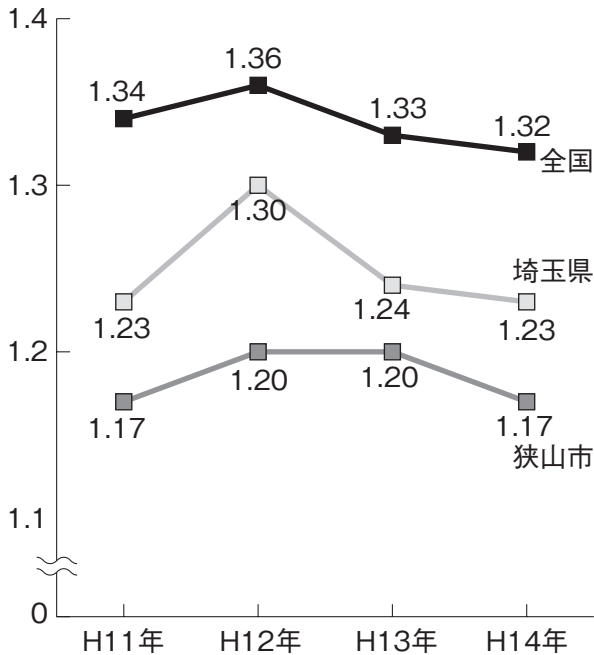
●詳しい調査結果は  
次世代育成支援に関する「21」  
ズ調査結果報告は、出張所、公民館、狭山市公式ホームページでご覧いただけます。  
<http://city.sayama.saitama.jp/>

狭山市の0～14歳人口の推移

※各年1月1日現在



国・県・市の出生率の推移



※数値は合計特殊出生率です。これは、15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に産むとした時の子どもの数に相当します

平成17年度スタートの次世代育成支援計画を策定中

市では今回の調査を生かし、次代を担う子どもと子育て家庭の支援策として、子どもが生まれ成長する過程を総合的に支援するための、狭山市次世代育成支援計画(仮称)を策定していきます。

計画期間

平成17年度から平成21年度の5か年計画を平成16年度中に策定します。

計画策定に関する基本的視点

- ① 子どもの視点
- ② 次代の親づくりという視点
- ③ サービス利用者の視点
- ④ 社会全体による支援の視点
- ⑤ すべての子どもと家庭への支援の視点
- ⑥ 地域における社会資源の効果的な活用の視点
- ⑦ サービスの質の視点
- ⑧ 地域特性の視点

重点的な検討事項

- 計画の策定に当たっては、次の項目を重点的に検討します。
- ① 地域における子育ての支援
  - ② 母性並びに乳幼児の健康の確保と増進
  - ③ 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備
  - ④ 子どもを育成する家庭に適した良質な住宅および良好な住環境の確保
  - ⑤ 職業生活と家庭生活との両立の推進など

計画の策定体制

計画の策定は、子育て中の保護者や関係団体、保健・福祉関係

者などで構成する策定委員会と、市職員で構成する庁内検討委員会を進めていきます。



計画の推進

計画の策定後は、全庁的な体制のもとに、各年度にその実施状況を一括して把握・点検し、その後の対策を実施します。また、実施状況などは、広報さやま、狭山市公式ホームページで、皆さんに分かりやすくお知らせするとともに、ご意見をお聞きして、次世代計画の見直しなどに反映させていただきます。

問合せ児童福祉課へ

内線1534